



慶應義塾大学ビジネス・スクール

みかん産業に関するノート

5

1. みかんとは

1.1 みかん

10

狭義の“みかん”とは温州みかんを指す。写真1に示す通り、いよかん・はっさく・ネーブル等の柑橘類を含めて広義のみかんという場合もあるが、本稿ではそれらは“その他柑橘類”と呼ぶ。温州みかんは通常11月から翌年の1月にかけて収穫される作物であるが、収穫される時期、栽培の方法によって大きく、普通・早生・極早生・ハウスの4種類に分類することができ、2010年度の農林水産統計によると栽培面積構成は、普通43%・早生37%・極早生19%・ハウス1%となっている。これら4種類の収穫時期やその他柑橘類の収穫時期は、付属資料1の通りである。

15

市場での卸値の決定は需給のバランスによるところが大きく、付属資料2の通り、みかんが市場に多く供給される時期においては、市場での卸値は低くなり、それ以外の期間では高くなる。各産地は、栽培する品種を温州みかんの中でも少し収穫時期の早い極早生という品種やその他柑橘類へ転換したり、ハウスで栽培したりすることで、市場へ出荷する時期・品種を、メインである温州みかんの普通・早生と重複しないよう工夫をしている。また東京中央卸売市場の統計情報によると、その他柑橘類の卸値も1kgあたり約200円～300円と温州みかんと同様であるが、中には清見・せとか・はるみなどといった1kgあたりの平均卸値が300円超である品種もある。

20

25

本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程 M32 期生の山本康裕と坂爪 裕准教授が共同で作成した。本ケースは、クラス討議の資料として用いるためのもので、経営管理の良否あるいは関係者の判断の適否を示唆するものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 坂爪 裕、山本康裕（2011年6月作成）